

日本史の3年生の授業は「大化の改新」です。

2時間続きで1時間目は「大化の改新」と「壬申の乱」について調べ、出来事についてプリントにそれぞれ130字程度でまとめる課題を行います。

調べて「読解力」、早速のアウトプットで「要約力」が付き、言語能力の開発としてもとても大切な時間です。ここで基本的な用語は第一段階として、一旦ずっと頭に入ってくることでしよう。生徒は集中して一生懸命取り組んでいます。



2時間目は模範解答とキーワードを確認し、出来事について先生の解説を聞きます。自分で事前に調べているので、先生が沢山話しても付いていくことができ、またキーワードをくり返し記憶できます。結果的に進度としては十分な内容になり、公務員試験に出るポイントなども教えてもらえます。

パソコンを移動式の大型テレビに接続し、絵や写真を豊富に使ってわかりやすく解説。プレゼンライドを丁寧に作成して、授業で活用している先生は多いです。テレビの他に、もうちょっと大きく投影したい場合のために、各HRに常設している単焦点プロジェクターも使用することができます。



最後に課題を提出してポイントとなります。

皆、しっかり頑張りました。お疲れ様。